

アフガニスタンの復興に関するクロノロジー

平成15年1月23日
外務省中東第二課

2001

- 12/5 アフガニスタン各派代表がボン会合で暫定政権の設立等につき合意
(ボン合意：注1)
- 12/20 安保理決議により I S A F (アフガニスタン国際治安支援部隊) (注2) の設立が承認される。翌日第一陣がカブール入り。
- 12/20-21 A R S G (アフガニスタン復興運営グループ) (注3) 第一回会合
- 12/22 暫定政権発足

2002

- 1/21-22 アフガニスタン復興支援国際会議 (注4)
- 2/19 在アフガニスタン日本大使館、13年ぶりの再開。
- 5/1-2 川口外務大臣アフガニスタン訪問
- 6/11-19 緊急ロヤ・ジェルガ (注5)
カルザイ暫定政権議長を大統領とする移行政権が発足。
- 7/6 ハッジ・カディール移行政権副大統領暗殺
- 8/19 移行政権、憲法委員会を設置
- 9/5 カルザイ大統領暗殺未遂事件
- 9/12 日・米・サウディが幹線道路建設を共同発表
日・アフガニスタン首脳会談 (NY)
- 10/7 移行政権、新紙幣の発行と旧紙幣の期限付き流通停止を発表
- 10/28-31 アブドラ外相訪日
- 12/2 ボン会合一周年記念閣僚会合 (ドイツ)
国軍、武装解除に関するカルザイ大統領布告
- 12/16 在京アフガニスタン大使館、5年ぶりの再開
- 12/22 カブール善隣友好会議。アフガニスタンと周辺諸国の善隣友好、相互不可侵を内容とするカブール宣言が署名・発表される。

(注1) ボン合意

国連の呼びかけで、ドイツのボン近郊に集結したアフガニスタン各派代表が以下につき合意。

暫定政権を設立。

暫定政権設立後6ヶ月以内に、緊急ロヤ・ジェルガ召集。移行政権を決定。

移行政権設立後18ヶ月以内の憲法制定ロヤ・ジェルガ召集、緊急ロヤ・ジェルガ開催から2年以内の選挙を経て、国民を完全に代表する政権樹立。

(注2) ISAF (国際治安支援部隊)

安保理決議1386採択を受け、カブール及び同周辺地域の治安維持を目的に設立された(任期は6ヶ月)。カブール警察と共に市内のパトロール等を実施。昨年5月、任期を6ヶ月延長し、11月には更に1年間延長。現在、約20ヶ国、約4500名が参加。

(注3) ARSG (アフガニスタン復興運営グループ)

国際社会によるアフガニスタン復興に関するコミットメントにつき、政治的指針を示す運営委員会。日・米・EU・サウディが共同議長。7月にパリで第2回、9月にワシントンで第3回会合を実施。

(注4) アフガニスタン復興支援国際会議

61ヶ国、21国際機関より閣僚レベルの参加を得て東京で開催。日・米・EU・サウディの共催。表明された支援額は、総額45億ドル以上。

(注5) 緊急ロヤ・ジェルガ(国民大会議)

カブールにおいて、代議員1650名を集め開催。カルザイ暫定政権議長が、移行政権の首班へ選出され、主要閣僚及び最高裁判所長官の人事が承認された。ザーヒル・シャー元国王は、国父としての象徴的な地位を占めることが決定。

(了)